インターネットと連動した 【滋賀生活情報紙】

この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

www.qaido.ip

vol.187・9月20日号 毎週木曜発行 4面にプレゼント情報!

●**Oh!Me**編集室/株式会社ヤマプラ:近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-32-3909

●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603

●発行/毎日新聞大阪本社開発宣伝部:大阪市北区梅田3-4-5

発行部数:100,000部





今回の素敵な人は「フナ寿司」の原料として 欠かせないニゴロブナの養殖に、県内で 初めて成功した「飯魚」の代表取締役・ 大島正子さん(45歳)。

養殖池のある安土町大中でお話を伺った。

高級品となった「フナ寿司」

京都で会社勤めをしていた大島さんが 専業農家だったお父さんの跡を継いだ のは12年前のこと。ご主人の協力を得 ながら農業を始めたが、生計を立てる のは難しく、他に収益をあげる方法を 模索していた。そんな時、新潟県では 休耕田を利用して錦鯉を養殖している 人がいると聞き「田んぼを池に変えて二 ゴロブナを養殖しよう!」と決めた。

ニゴロブナは滋賀県の郷土料理として



OL時代の大島さん

19世紀から20世紀のギターとアンティークオルゴール

知られるフナ寿司の 原料だが、琵琶湖の 水質悪化や外来魚の 影響から漁獲量が激 減し、天然のニゴロ ブナを使ったフナ寿

司はめったに手に入

らなくなってしまった。安土町で生ま れ育った大島さんにとって、フナ寿司 は子供のころから親しんできた身近な 料理。外国産や地方で養殖された二 ゴロブナを使ったフナ寿司が市場に出 回っている現状に「何とかしておいし い安全な地元産のフナ寿司を広め たい!」との思いを強く持っていた。「新 たな収益の道」「安全で安心なフナ寿司 の生産」……大島さんの中で二つの目標 が重なり、挑戦が始まった。

技術の確立まで 5年の道のり

しかし初めての取り組みに周囲の反応 は冷たかった。そもそも大中は稲作用 に干拓された土地。そこで養殖をする こと自体が理解されなかったのだ。い ざ養殖を始めてもフナが大きく育たず、 悪戦苦闘の連続。水産試験場でアドバ イスを受けてもうまくいかず、

ただ根気よく観察を続けるしかなかっ た。ようやく養殖技術を確立できたの が5年目のこと。一方、県が行うフナ の放流事業や外来魚駆除などの取り組 みが盛んになるにつれ、養殖事業にも 理解が得られるようになった。やがて 大島さんの事業への賛同者が現れ、 2006(平成18) 年に株式会社飯魚を設 立するに至った。

「フナ寿司」を後世に 伝えていきたい!

大島さんの養殖方法は薬剤や過度の 餌は与えずに天然に近い環境で育てる ことが特徴だ。「より多くの農業従事者 に養殖に取り組んでもらい、もっとた くさんのフナ寿司が生産できれば良い と思います。そのための技術指導や協 力は惜しみません」と話す。

食文化としての価値が見直され、フナ 寿司がもう一度庶民の味として食卓に 復活してほしいと話してくれた。フナ寿 司への加工は沖島の漁師と共同で作業 しており、来年は25、再来年は35を 生産、加工の予定。社名の「飯魚」とは、 漁師の方言でニゴロブナのことを言い「飯 漬けにもっとも合う魚」の意味があると いう。ますますの活躍を応援した





KAMPO MUSEUM IN SHIGA

11月30日(金)まで【会場】観峰館本館展示室1・2

〈展示室1〉19世紀ギターから、マーチン、ギブソンなど44本のギター〈展示室2〉T型フォードなどクラシック カー3台、西洋家具、アンティーク・オルゴール17台、1780年製作のスクエアピアノ2台 ほか



オリジナル楽器による古典派 浪漫派のギタ

オルゴール鑑賞会」 クリテリオン、レジーナなどのディスクオルゴールと、 1900年・スイス製のオーケストラシリンダーオルゴールによるコンサート

~カントリー・ブルース、 ラグタイム・ギターの魅力~ ィック・ギター・ソロ・コンサート



10月7日(日) 14:00

【会場】観峰館 本館 展示室2 演奏&トーク:打田十紀夫 (ギタリスト)

主催・お問い合わせ:財団法人日本習字教育財団 観峰館

各チケット代(入館料含む) / 大人 1,000円 高校生以下 600円 チケット購入先 マンサーナ TEL.075-972-2834 http://manzana.ne.jp



■入館料 一般/500円 高校生·大学生/300円 小学生·中学生/200円 ※団体割引(20名以上)2割引

■休館日 月曜日(但し、祝日の場合は翌日)■開館時間 9:30~17:00(入館16:00まで)

財団法人 日本習字教育財団 観峰館 〒529-1421滋賀県東近江市五個荘竜田町136 TEL.0748-48-4141 FAX.0748-48-5475 http://www.nihon-shuji.or.jp/kampo/

